

平成18年
(2006)



喜界島

4

発行/鹿児島県喜界町役場 ㊟891-6292 電話0997-65-1111 編集/企画課 印刷/南日本新聞開発センター

No.466

次代は任せて

～喜界島の未来を語る子ども議会～



▲▼質問する児童



◀議事進行は中学生



今月の紙面

- 2～5面 平成18年度当初予算
- 6～9面 行政の話題
- 10～11面 まちの話題/国民年金だより
- 12～13面 お知らせ/あの日あのころ/保健師だより
- 14面 教育委員会のとびら
- 15面 喜界歌壇/わが家のアイドル/戸籍の窓ほか
- 16面 スナップ集



平成18年度当初予算

財政状況の厳しさを続く

～一般会計16%減、55億7000万円～

指定金融機関に農協指定

平成十八年第一回喜界町定例会最終本会議が三月二十二日、議会本会議場であり、平成十八年度一般会計当初予算など四十五件の議案等が可決、同意された。一般会計予算は、昨年度より十億円以上減少し、五十五億七千万円と平成三年度の予算規模まで縮小した。特別会計では公共下水道事業が二億九千七百万円余り減少。一般・特別会計合わせた予算総額は九十九億六千四百万円余りとなり、昨年度と比べ十三億六千六百万円の減少となった。財政状況は依然厳しく、大幅な歳入不足に対応するため、町債や臨時財政対策債を活用、また財政調整基金から繰り入れを行い、予算を計上した。

【一般会計】

加藤啓雄町長は予算編成説明の冒頭で「極めて厳しい財政状況。これまで以上に経費の徹底した節減合理化に努め、効率的な財政運営を推進したい」と述べ、依然続く財政状況の厳しさに言及した。

平成十八年度一般会計当初予算は、五十五億七千六十五万円。前年度に比べ十億五千七百万円余、一六％の減額となった。このうち、特殊要因である庁舎建設費を除くと、実質的には対前年比約一億円、一・七％減となる。

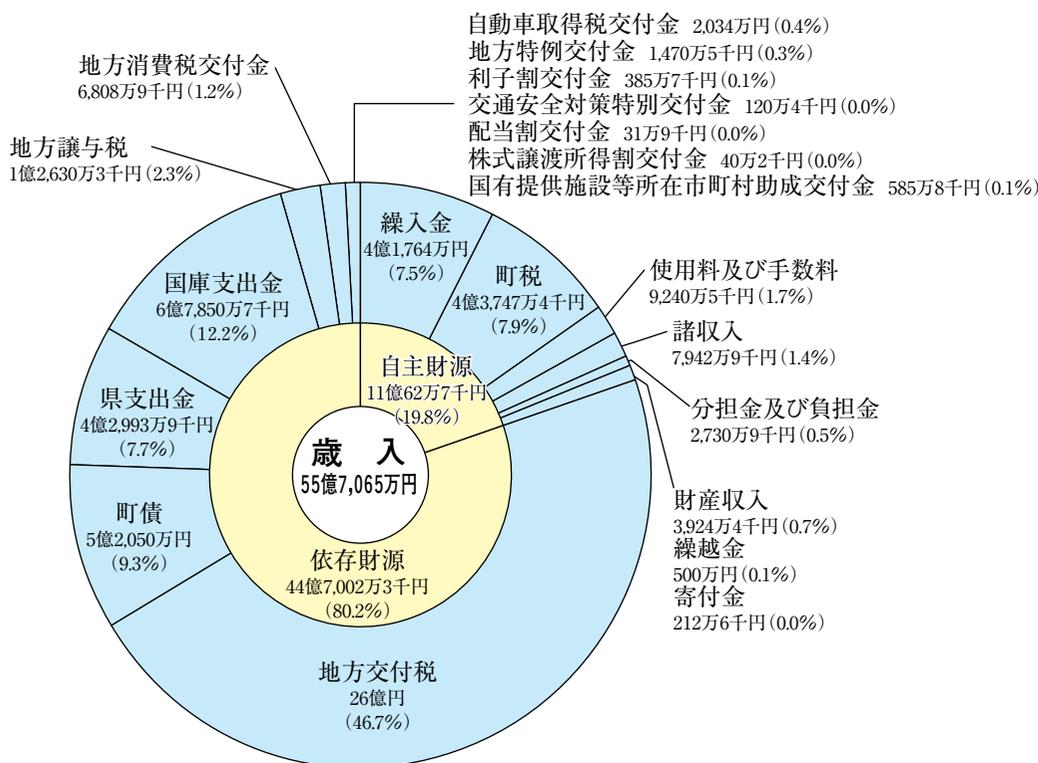
歳入は、全体の約四六％を占める地方交付税は昨年同様

二十六億円を計上。臨時財政対策債（後年度に地方交付税に算入）は一億四千七百万円を計上した。国庫・県支出金等を含めたこれら依存財源は四十四億七千万円と全体の八〇％を占める。

対して、町税などの自主財源は十一億四千万円余り。町税は四億三千九百万円を計上。所得減や景気低迷、また固定資産の評価替えの関係で、昨年度より一千万円の減額となった。

歳出を性質別で見ると、庁舎建設事業費が庁舎建設完了に伴い、約十億円の大減となったが、その他の経費は前年度とほぼ横ばい。

平成十八年度の一般会計の主な事業は、農産物加工販売施設（一億九千万円余）、荒木漁港の基盤整備事業（一億九千万円余）、手久津久志戸桶港改修工事（三億八千万円余）など。農産物加工販売施設は、新たな特産品の開発、研究等の拠点として新設。荒木漁港、志戸桶港、手久津久港は沖防波堤などの整備を行う。財政状況は依然厳しいことから、町では従来にもまして既存事務事業の徹底的見直し、経常経費の削減、定員の適正化、行政経費の節減、合



加工センター建設地



理化を図る。

【国民健康保険特別会計 (事業勘定)】

昨年度より約四千七百万円多い、約十億五千万円を計上。歳出では、一般被保険者療養給付費保険者負担金が約四千五百万円増え、四億九千万円余りとなり、年々医療費給付が増大している。

【国民健康保険特別会計 (直診勘定・診療所)】

診療所は昨年度より約五千万円減額。院外薬局の設置で外来収入が約八千万円減っている。

【公共下水道事業】

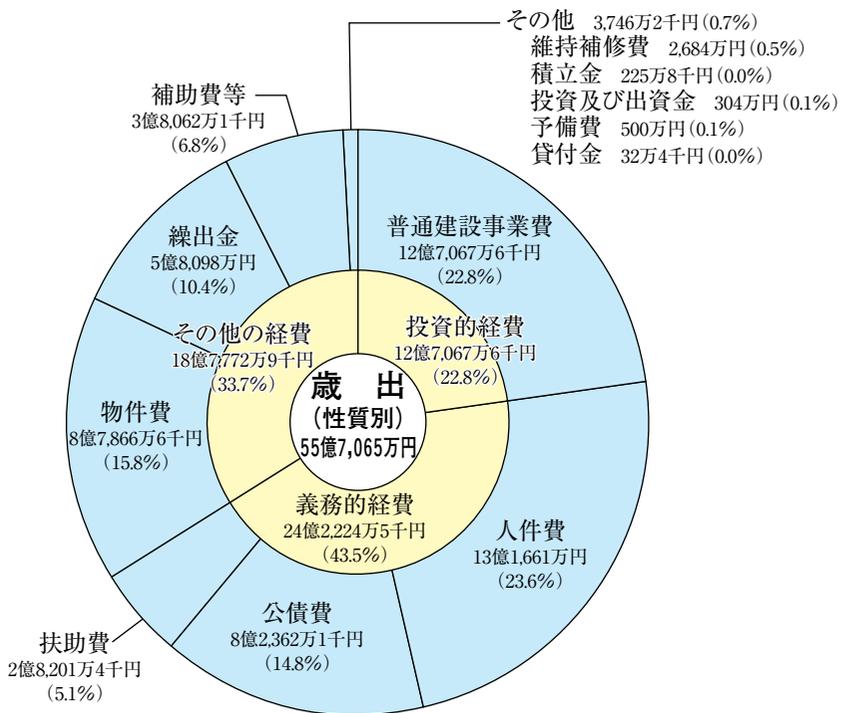
今年度も汚水幹線敷設工事費として、二億六千三百万円を計上。赤連・湾地区の公共

下水道の整備を行う。

【老人保健】

介護保険導入後、老人保健の対象年齢が段階的に引き上げられていることから、医療費は年々減少傾向にあるが、高額療養については外来も高額療養費の対象となったことから増加の傾向にある。

新年度予算は昨年度より約千万円減り、十一億四千万円



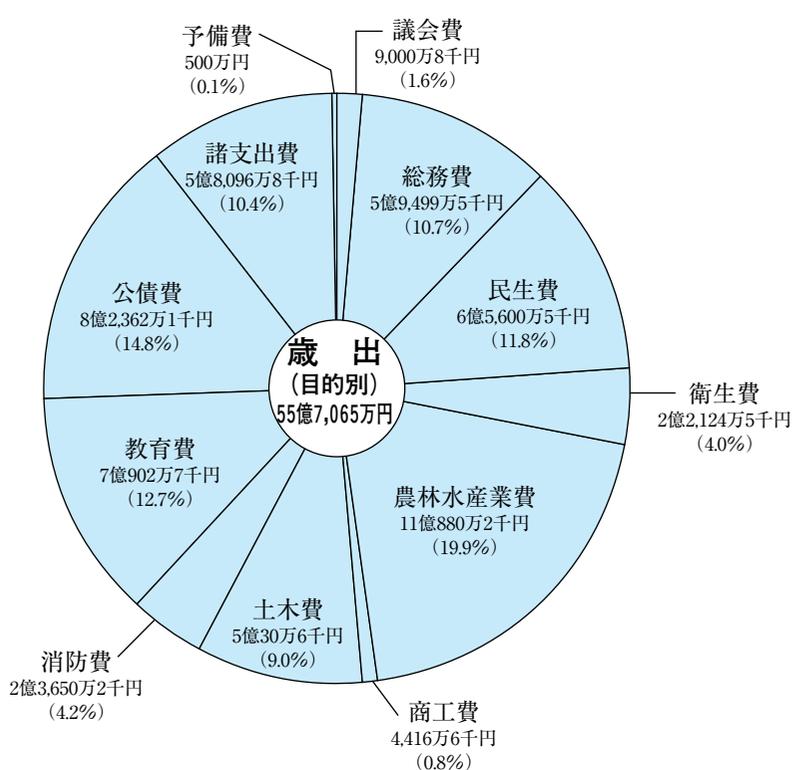
となった。

【介護保険事業】

介護保険は認定者は増加しているが、制度の見直しにより保険給付は減少している。今年度は約三千万円減の七億六千万円余りとなった。

【簡易水道事業】

今年度は施設の老朽化が激しい池治、羽里、早町、塩道、白水集落の基幹改良事業を



施する。昨年度比六千六百万円増の二億九千四百万円を計上した。

【農業集落排水事業】

今年度の予算は、昨年度比三百四十万円の増の八千百万円。増の要因は公債費の償還金五千八百万円。

【老人福祉施設事業】

今年度の予算は四億五千三百万円。前年度比二千八百万

円の減。介護保険の制度改正により、居室・施設介護サービス費収入が約四千四百万円減った。

【屠畜事業】

屠畜場事業には二百六十二万円を計上。歳入では使用料として百七十四万円、不足分は一般会計から八十八万を繰り入れた。

【報告】

主要事業・補助金・負担金等一覧

◆一般会計

	(単位:千円)
地方公共交通特別対策事業(バス)補助金	35,000
鹿児島・喜界・知名航路運営基金負担金	9,080
食の自立支援事業委託料(配食サービス)	11,720
重度心身障害者医療費助成金	20,000
身体障害者療護施設支援費	10,512
知的障害者更生施設入所支援費	58,154
知的障害者更生施設通所支援費	8,914
障害者自立支援給付費	84,115
老人保健諸検診業務委託料	31,172
包括支援センターケアプラン作成委託料	16,548
児童手当	43,465
廃棄物収集及び運搬業務委託料	24,552
焼却灰搬出処理委託料	14,010
浄化槽設置整備事業補助金	19,935
農業共済事業運営負担金	16,260
かごしま園芸タウン条件整備事業	20,000
農産物加工販売施設工事費	197,217
県営畑地帯総合整備(担い手育成型)事業負担金	165,925
喜界土地改良区補助金	10,000
国営かんがい排水事業負担金	29,598
県営畑地帯総合整備(担い手支援型)事業負担金	21,000
荒木漁港地域水産物供給基盤整備事業工事費	193,150
空港臨海公園管理委託料	17,200
道路改良舗装工事	15,000
喜界島港改修工事(手久津久・志戸桶)	384,000
大島地区消防組合負担金	152,617
大島地区消防組合特別負担金(高機能消防指令センター)	30,391
大島地区消防組合特別負担金(消防ポンプ)	28,928
パソコンリース料(小学校)	12,352
学校施設補修工事	23,000
パソコンリース料(中学校)	18,553
第一中学校屋内運動場設計委託料	17,693
町債元金償還金	660,434
町債利子償還金	162,358

◆繰出金

老人保健特別会計繰出金	90,455
国民健康保険事業特別会計繰出金	125,205
介護保険事業特別会計繰出金	135,022
公共下水道事業特別会計繰出金	84,237
簡易水道事業特別会計繰出金	28,213
老人福祉施設事業特別会計繰出金	90,052
直営診療施設勘定特別会計繰出金	22,612

◆特別会計

基幹改良事業工事費(簡水)	108,690
污水幹線敷設等工事(公共下水道)	263,000

平成17年度補正予算

会計	補正前	補正額	計
一般会計(第9号)	6,881,920	1,667	6,883,587
国民健康保険(第3号)事業勘定	1,087,337	△2,600	1,084,737
国民健康保険(第3号)診療所	268,874	△6,134	262,740
介護保険(第3号)	813,085	0	813,085
老人福祉施設(第1号)	481,157	△19,019	462,138
簡易水道(第4号)	303,095	1,200	304,295
農業集落排水(第3号)	124,954	△6,294	118,660
公共下水道(第3号)	672,695	△5,169	667,526

▽喜界町高齢者保健福祉計画について
介護保険法の改正に伴い、第二期喜界町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を見直した。

【条例の制定および改正等】
▽町長等の給与の特例に関する条例
三役、教育長の給料を引き続き一年間一〇%削減する。
▽町長761,000円↓6

84,900円▽助役600,000円↓540,000円
▽収入役、教育長567,000円↓510,300円
▽報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例
ごみ処理対策検討委員会委員(月額3,000円)、情報公開審査会委員(会長 月額18,000円、委員15,000円)の報酬を定めた。
▽喜界町職員の給与に関する

条例等の一部を改正する条例(7つの条例の一括改正)給料表の全面改正(減額)等
▽喜界町職員定数条例の一部を改正する条例
診療所の吏員定数の改正。
▽喜界町課設置条例の一部を改正する条例
健康増進課と営農技術課を廃止、住民課と保健福祉課の事務分掌を改めた。

▽喜界町情報公開条例の制定について
公文書開示に関する必要事項を新たに定めた。
▽喜界町コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の制定について
新庁舎に併設されたコミュニティセンター(集会所兼多目的室等)の管理運営について定めた。
▽喜界町コミュニティ公園の

(単位:千円)
設置及び管理に関する条例の制定について
新庁舎西側に併設されたコミュニティ公園の管理、運営について定めた。
▽土地改良事業基金条例を廃止する条例(廃止)

クリハー・ケラジ 機能性成分含有確認される



今年も枝いっぱいの花をつけた島ミカン

～山本雅史鹿大助教授が「在来カンキツ類調査結果等報告会」～

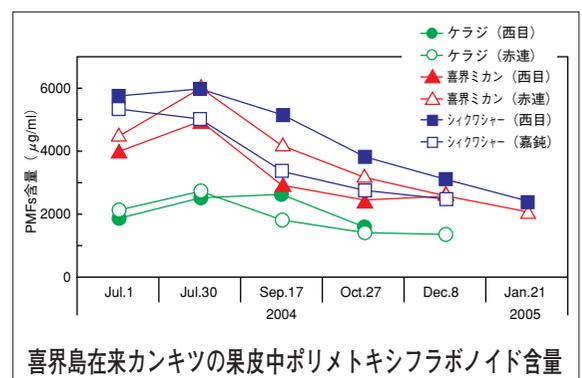
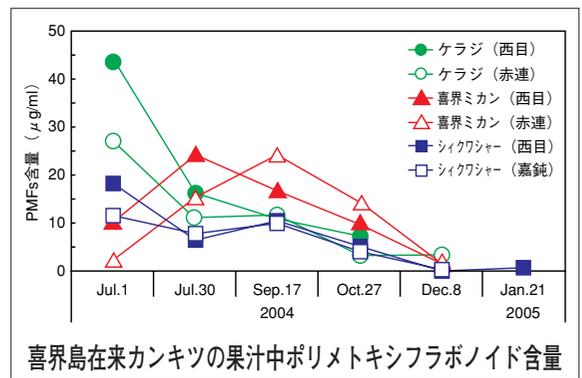
山本雅史鹿児島大学助教授による「在来カンキツ類調査結果等報告会」が三月二十二日、役場コミュニティセンターであり、在来のクリハーやケラジミカンにがんを抑える働きや血圧・血糖値の上昇を抑える働きがあるとされるポリメトキシフラボノイドが多く含まれていることが報告された。また、ケラジ、フスーにはアスコルビン酸(ビタミンC)が多く含まれているとの報告もあり、在来の島ミカンが非常に優れた機能性成分を持っていることが解明された。調査の結果、先祖が守り育ててきたこれらの在来ミカンが貴重な「商品」「宝」であり、新たな可能性を持っていることを山本助教授は示した。

沖縄県特産のシイクワシャー(ミカン)にはがんを抑え、血圧や血糖値の上昇を抑える働きがあるとされるポリメトキシフラボノイドが多く含まれる。沖縄県ではジュースや薬味、加工品として様々なかたちで利用され、市場は四十億円を超える。

そのシイクワシャーに勝るとも劣らないカンキツ類が喜界島にもあることが、平成十五年頃から始めた在来カンキツ類の機能性成分調査で確認された。

山本助教授の調査によると、ケラジミカン、クリハーの果汁に含まれるポリメトキシフラボノイド含有量は、シイクワシャーと同程度かそれより多かった。また、果皮に含まれるポリメトキシフラボノイドはクリハー、シイクワシャーで多く、ケラジミカンはそれらの約半分(それでも温州ミカンの約四倍)であった。

アスコルビン酸(ビタミンC)含量調査では、ケラジミカン、フスーの果汁にアスコルビン酸が多く含まれ、抗酸化能が高いことが判明した。



山本助教授は「今回の調査でケラジミカン、クリハーが高い機能性成分を有していることが判明した。ポリメトキシフラボノイドは熱を加えても変わらないので、加工(商品化)も可能」と今後に期待を示した。また、ケラジはクネンボに非常に近く、クリハーもケラジ、クネンボと近縁であることが、遺伝子分析から明らかになった。

今後の課題として山本助教授は、優良系統の探索、選抜や販売戦略、商品化、そして近年問題となっているカンキツグリーニング病やゴマダラカミキリ対策を挙げ、「在来カンキツは島の環境に適しており、貴重な遺伝資源。守り

育ててほしい」と語った。

◆ポリメトキシフラボノイド 抗がん、抗アレルギー、血圧上昇抑制、血糖値上昇抑制などの作用があり、シイクワシャーに多く含まれている。しかし、温州ミカンやレモンなどはほとんどない。

◆アスコルビン酸 ビタミンCの別名。メラニンの抑制、コラーゲン合成の促進、酸化作用などさまざまな性質がある。人間の体内では作り出せない成分。ビタミンCが不足すると、細胞の組織が破壊され出血する壊血病と呼ばれる病気になることから、壊血病ビタミンとも言われている。

(詳しい資料は産業振興課へ)

長寿者に学び 資源活かそう

あまみ長寿・子宝プロジェクト戦略ビジョン会議

事業の目的や趣旨を理解してもらい「長寿・子宝・癒しの島」構築のための共通意識、契機づくりにしようと、喜界町「あまみ長寿・子宝プロジェクト戦略ビジョン会議」が三月二十八日、役場コミュニティセンターで開かれ、役場や農協、商工会、ホテル関係者ら約三十人が意見を交わした。会議では名瀬保健所長の講演や地場産食材の試食、グループ討議もあり、「子宝に恵まれ、元気に長生きするにはどうすればよいか。皆で知恵を出し合おう」と、活発な意見が交わされた。今回の会議を契機に各部署の連携や取り組みをどう発展させるか。役場では、住民と協働（連携しながら共に働く）し体制づくりを進める。



会議ではまず、名瀬保健所の富加見所長から「あまみ長寿・子宝調査」の概要説明が

あり、十万人当たりの百歳以上の人口が、奄美は六十四・八六と沖縄県（四十七・〇七）よりも高いことや喜界町の合計特殊出生率が、全国一・三六に比べ二・三一と高いことなどが示され、「少子・高齢化に対応したモデル地区として発展する可能性が高い」との報告があった。

今回の会議は、これらの情報や背景にある長寿食材の活用を住民と共有し、「長寿・子宝・癒しの島」の体制を整えるための意識づくりを目的に開催された。

あまみ長寿・子宝プロジェクトとは？

【目的】

- ・「長寿、子宝、癒しの島あまみ」の構築
- ・あまみ諸島の自立的な発展の促進
- ・県民、国民の健康寿命延伸と次世代育成支援への寄与

【基本理念】

- ・「長寿、子宝、癒しの島あまみ」の構築
- ・長寿者の多さ、合計特殊出生率の高さを支えてきた自然環境や食材、伝統文化等の活用
- ・情報発信、独自のまちづくり、産業、観光の振興、促進
- ・奄美群島全体の活性化

長寿の島に黄色信号？

名瀬保健所・富加見所長は「女性の平均余命は各年代で全て全国平均を上回っているものの、男性60歳以下の平均余命は、各年代全て全国平均よりも下回っている」と指摘。食生活と生活習慣病との関係や「長寿の島」が今後も続くのか疑問も投げ掛けた。食生活の見直しも必要のようだ。

▽長寿・子宝に関する喜界町の課題

- ・年代別に見ると、喜界の若年層の平均余命（特に男性）は全国平均・県平均を下回っている。
- ・男女とも検診結果で生活習慣病につながる有所見者（高血圧、肥満）が県・管内に比べて高い。
- ・合計特殊出生率を経年的に見ると、全島的に減少傾向で、喜界島も例外ではない。

会議の合間には、「黒ゴマ あんの白玉団子」「そら豆コロッケ」「ハンダマ入りゴマ豆腐」「ツルナのお焼き」「ハンダマゼリー」など、生活改善グループなど四団体が地場産食材で作った料理の試食会もあり、スーパリーやホテル関係者はメモを取ったり、作り方を質問したりしながら味を確かめていた。

続いて行われたグループ討議では、六～七人の五班に分かれ、「地場産食材を活用したまちづくり」皆が生き生きと暮らせる町にするにはどうしたらよいかをテーマに、それぞれ意見を自由に出し合った。

参加者からは「若い母親へのレシピ指導」「加工技術の研究」「素材の効能を知らせる」「島食材を使った惣菜のスーパリーでの提供」「小さな時から立」島の食材の地区別栽培や老人クラブ栽培」など、柔軟な発想やユニークな意見が寄せられた。

今回の会議では、六十歳以下男子の平均余命が低いことが指摘されたが、今後も元気を維持するには、食生活から見直さなければならぬ。そして島の食材を活かした「長寿・子宝・癒しの島」づくりには、役場と住民の協力が不可欠。給食センターやスーパリー、ホテル、家庭での島食材の利用、供給体制の整備や加工品の開発など関係機関が一体となって取り組み、ば、「長寿・子宝・癒しの島」はもとより、島の活性化につながる。

児童「議員」9人 堂々の質問

真剣に島の未来考える



初の「子ども議会」開く

喜界町役場新庁舎完成を記念して、喜界町の未来を語る「子ども議会」が三月十一日、新庁舎議場で行われ、各小学校の代表児童九人が、産業や観光、教育、水、住宅、ゴミ、子育て、税金、防災問題を町当局に質問した。議長は中学生の山元由紀子さん（第一中学校）、副議長は榮岳海くん（第二中学校）、書記は大塚穂乃香さん（早町中学校）が務めた。

代表質問、一般質問では「どのような島興しをしていますか」「観光客を増やすために

にどのようなことをしていますか」「教室にクーラーを設置することはできないか」「学校にプールを設置してほしい」「防災システムはどうなっていますか」など、それぞれが四つほどの質問を用意。子どもならではのユニークな質問や感性豊かな発想、またパネルを用意して町当局に質問する児童もいて、担当課長は懇切ていねいに答弁していた。

議長を務めた山元由紀子さんは「みんなが真剣に喜界島の未来について考える、とてもいい雰囲気だった。子どもは大人にはない発想を持っているので、もっと子どもの意見を取り入れてほしい。できれば中学生にもこういう機会を与えてほしい」と語った。

代表質問のトップバッターを務めた幸可菜恵さん（湾小六年）は「具体的な答弁でわかりやすかった。将来、若い人が増えて働く場所がたくさ

んあって、お年寄りが安心して住める島になってほしい。話を聞くときはメモをとることを学びました」と感想を語った。

子ども議会を企画した晴永清道教育長は「十年後、二十年後も喜界島が豊かであるためには、どうすればよいかを考えるいい機会になったので

エプロン劇場大人気!

次々飛び出す人形、くるくる変わる紙人形



●図書館セミナー●

「喜界町に学びの風を」「読書の風を喜界から」をキャッ

はないか。全員、堂々と発表していた。この心構えを学校生活でも発揮してほしい」と激励した。

各小学校の代表は次のとおり。

▽幸可菜恵（湾小）、友岡芳朗（上嘉鉄小）、中島興志朗（早町小）、榮ありさ（坂嶺小）、佐藤宗（阿伝小）、前田有希（荒木小）、三田美志保（志戸桶小）、河野有香（滝川小）、濱田和（小野津小）

たり笑ったりしながら食い入るように見つめた。

お母さんには「本好きにする十カ条」を伝授。乳幼児期にはまず「絵本と遊ぶ」「書店や図書館へ親子で通い、好きな本を選ぶ」など、「読み聞かせを始める前に、楽しみを知ることから入っていく方が望ましい」と話した。また、「良書と出会うことで読む力が目に見えない精神の強さを培う」と語った。

図書館では「来年も開催予定。たくさん参加を待っています」。

※エプロンシアター 人形劇のようなもので、エプロンにした人がポケットからいろいろな登場人物を取り出し、エプロンを背景にお話をする。布製の人形には楽しい仕掛けがある。

※ペープサート プラカードのように持ち手をつけた紙人形。紙という平面世界の表裏二面を利用した紙人形劇。登場キャラクターのクルクル変わる変身ぶりが、とてもおもしろい。

平成18年度 役場職員人事異動一覧表

昇格	氏名	新任職	前任職	昇格	氏名	新任職	前任職
	(課長級)				市山 茂	住民課	消防分署
	嘉 重久	税務課長	生涯学習課長兼中央公民館長		篠原 真智子	保健福祉課地域包括支援センター	健康増進課
	岡村 進一郎	生涯学習課長兼中央公民館長	健康増進課長		重野 泰浩	産業振興課	大島農業共済事務組合
	豊 富喜雄	産業振興課参事	営農技術課長		平馬 尚樹	国保診療所	健康増進課国保診療所
	藤本 安満	産業振興課長兼営農支援センター所長	産業振興課長		美沢 久子	保健福祉課(保育士)	健康増進課(保育士)
○	基井 宏信	保健福祉課長兼地域包括支援センター所長	税務課長補佐		岡田 史子	保健福祉課地域包括支援センター	保健福祉課介護支援センター
○	益 一幸	国保診療所事務長	保健福祉課長補佐		伊地 知典子	第三保育所(保育士)	第一保育所(保育士)
	(課長補佐級)				(一般職)		
	孝志 真人	早町支所長補佐	教育委員会総務課長補佐		澄田 和典	保健福祉課	介護保険一部事務組合
	川畑 英二	教育委員会総務課長補佐	早町支所長補佐		島崎 久代	第一保育所(調理員)	老人福祉施設(調理員)
	嶺岡 寿一	産業振興課長補佐	財産管理課長補佐		牧 光子	老人福祉施設(調理員)	第三保育所(調理員)
	久保 一丸	財産管理課長補佐	総務課行財政改革担当兼選管書記		昌野 紀代美	国保診療所(看護師)	健康増進課(看護師)
	住岡 秀樹	産業振興課営農支援センター所長補佐	営農技術課長補佐		盛 真紀子	保健福祉課地域包括支援センター(看護師)	老人福祉施設(看護師)
	吉岡 強	産業振興課技術補佐兼農業開発組合指導監	営農技術課技術補佐		勇 文子	老人福祉施設(看護師)	健康増進課国保診療所(看護師)
	幸田 泉男	保健福祉課地域包括支援センター所長補佐	健康増進課長補佐		岡田 勝昭	産業振興課	営農技術課
	喜岡 哲久	国保診療所事務長補佐	健康増進課国保診療所事務長補佐		羽佐田 紀子	保健福祉課地域包括支援センター(保健師)	健康増進課(保健師)
○	金江 茂	保健福祉課長補佐兼介護保険係長	保健福祉課介護保険係長		吉田 幸子	保健福祉課地域包括支援センター(保健師)	健康増進課(保健師)
○	來 和法	税務課長補佐	税務課固定資産税係長		大山 睦子	保健福祉課地域包括支援センター	保健福祉課介護支援センター
○	体岡 光子	地域包括支援センター主幹兼主任保健師	健康増進課保健センター保健師		西 みどり	国保診療所(看護師)	健康増進課国保診療所(看護師)
	(係長級)				住岡 京子	国保診療所(看護師)	健康増進課国保診療所(看護師)
	富 充弘	税務課係長	企画課広報係長		中村 誠子	国保診療所(看護師)	健康増進課国保診療所(看護師)
	小林 学	農業委員会庶務係長	給食センター庶務係長		壽 絹代	国保診療所(看護師)	健康増進課国保診療所(看護師)
○	吉沢 伸一	総務課財政係長	総務課		和田 征美	国保診療所(看護師)	健康増進課国保診療所(看護師)
○	実田 輝満	企画課係長	教育委員会総務課		指宿 正人	国保診療所	健康増進課国保診療所
○	吉行 進	産業振興課係長	産業振興課		嶺倉 公人	国保診療所	健康増進課国保診療所
○	英 憲仁	産業振興課係長	産業振興課		(学校主事)		
○	幸田 勝光	給食センター庶務係長	産業振興課		勝本 徳江	早町小学校	小野津小学校
○	盛 実	建設課係長	建設課		(出向)		
○	壽 隆彦	産業振興課係長	健康増進課国保診療所		富田 道夫	大島農業共済事務組合	保健福祉課
○	竹 美保子	保健福祉課係長	保健福祉課		(新規採用)		
○	吉田 信子	国保診療所看護師長	健康増進課国保診療所看護師		夏目 淳一	総務課	
○	岩井 亮子	住民課係長	保健福祉課		久 郁弥	生涯学習課	
○	宝 幸江	収入役室係長	収入役室		加治 佐勉	財産管理課	
○	中村 幸雄	建設課係長	建設課		瀧元 洋平	総務課(大島地区消防組合)	
○	孝田 莊屋	保健福祉課地域包括支援センター係長	住民課		盛山 由香	保健福祉課(栄養士)	
○	豊 雅則	水環境課係長	水環境課		(退職者)	平成18年3月31日付	
○	前島 利彦	消防分署係長	消防分署		野間 昭夫		
○	岩切 進一郎	消防分署係長	消防分署		澄岡 智津子		
	(主査級)				高山 恵美子		
	沖 康仁	保健福祉課	税務課		富山 文枝		
	平松 艶子	税務課	生涯学習課図書館		山口 博光		
	竹内 功	生涯学習課中央公民館	営農技術課		藤井 明廣		
	和田 政次	建設課(空港管理)	農業委員会		安島 幸子		
	上地 義隆	産業振興課	営農技術課		長島 律子		
	叶 一寿	産業振興課	営農技術課		基井 美智子		
	梅林 瑞代	国保診療所	教育委員会総務課		佐々木 正二郎		
	黒田 洋	教育委員会総務課	保健福祉課		内村 龍一郎		

試合に向け日々稽古

来年2月、本町で初の開催



大会に向け気合を入れた道場生たち。手には栄光の数々が

新極真会奄美交流試合

NPO法人全世界空手道連盟新極真会(緑健児代表)の奄美交流試合が来年2月、喜界島で開催される。喜界道場の藤山茂樹分支部長(45)は「喜界島で初めての大きな大会。役員、選手を含め約二百人が訪れる。ぜひ成功させた」と意気込んでいる。

今年の奄美交流試合は二月二十六日、住用村奄美体験交流館であり、喜界島からも十五人が参加。女子の部で林真紀さんが優勝するなど、五人

が入賞を果たした。

極真空手は数々の伝説を持つ故・大山倍達氏が創設。二〇〇〇年に名称を新極

真会と刷新し、瀬戸内町の緑健児氏(一九九一年第五回世界大会優勝)が代表に

ついた。世界六十八カ国に百五十二の支部を持ち、総会員数

五万人以上、日本には三百六十以上の道場、一万五千人以上の

会員がいる。活動方針に「青少年育成」「社会貢献」「国際交

流」を掲げ、最強の武道空手を追求し続

けている。喜界島道場には小学一年生から五十一歳まで三十人が所属し、日々、厳しい稽古に励んでいる。

喜界道場の藤山分支部長は、昨年の第九回オープントーナメントマスターズ大会空手道選手権大会(全国大会)・フルコンタクト三十五歳以上四十二歳以下部門で準優勝を果たしている。実年齢は四十五歳だが、四十二歳以下に出場するところに自信とこだわりがある。



三月八日には、高校を卒業し、島を出る東郷轟くんと直

田圭裕くんを藤山分支部長と

牧政己(黒帯)さんが稽古で

激励。「真の分かる人間になれ」と拳で伝えた。ふたりは

「きつかったけど、六年間は楽しい思い出。島を出てもここで学んだことを忘れずにがんばりたい」と決意を新たに

していた。

東京や長野からも参加

第22回俊寛ジョギング大会

第二十二回俊寛ジョギング大会(喜界町陸上協会主催)桐野茂昭会長)が三月五日、

俊寛座像前を発着点に開催され、四百三十五人がさわやかに

参加者は、二キ、五キ、十キの部に分かれてスタート。タイムを目指し真剣な表情で走る小中生、手をつなぎ

ゆつくりと走る親子、友だちとおしゃべりしながらジョギングを楽しむ若者。それぞれ

思い思いのペースでジョギングを楽しんだ。

夏を思わせる陽気の中、額に汗した参加者たちは次々に

ゴール。記録を目指した参加者は息を弾ませ、親子の参加

奄美交流試合まで一年。地元での大会に花を添えるため、道場生たちは今日も厳しい稽古に励む。

▽奄美大会成績

【女子の部】優勝 林真紀

【中学生の部】三位 中山勝史

【小学一年生の部】三位 栄 悠大・満井颯太

【小学校五年生の部】三位 黒原航太

者は笑顔で、また万歳してゴールする参加者もあり、走る楽しさを存分に満喫した様子だった。

大会には東京都や長野県からの参加もあり、二十二回を迎えた大会はおおいに盛り上がった。

▽大会成績

【2キの部】参加者264人

男子

①三浦大輝 7分30秒

②来龍平 7分34秒

③前底勇輝 7分54秒

女子

①美代奈津実 7分38秒

②梶原麻衣 8分43秒

③川畑奈々 8分49秒

【5キの部】参加者144人

男子

①梅龍飛 19分59秒

②植村一平 20分5秒

③原田大貴 20分17秒

女子

①吉富莉穂 24分14秒

②園田樹子 24分17秒

③竹下淳子 24分29秒

【10キの部】参加者27人

①折田勝宏 39分48秒

②生田恭平 41分17秒

③生田恭智 40分32秒

【長寿賞】町田清子(74歳)

【遠来賞】折田勝宏(東京都)

井上大輔(長野県)

日本の文化をもっと知りたい

第25回ハンスー交流で留学生3人来島



では都会がほとんど。喜界島のような田舎で日本文化をもっと知りたいと思った。自然が豊かで人々がやさしい」などと、交流参加の動機や島の印象を語った。

滞在中はそれぞれの家庭でキビ刈りや牛の管理、黒糖作り、ゴマドレッシング作りを

体験。学校訪問で互いの文化を紹介したり、八月踊りや六調で集落民と交流を深めたりしながら、島の風習、生活、文化にふれた。また、これまでハンスー交流に携わってきた会員との交流会もあり、喜界島の文化を十分に吸収して島を離れたという。

ハンスー交流会ではこれまでに三十五カ国、四百人の外国人を受け入れている。

年齢差超えてソフトで交流

一般女子ソフトボールチーム（愛隆治監督）と湾小野球同好会（松元秀雄監督）の親

睦試合が三月十九日、総合グラウンドであった。参加者は暖かな南風の吹く中、親子以

上？の年齢差を超え、すがすがしい汗を流した。

小学生チームはスローピッチという慣れないルールに苦戦しながらも、のびのびとプレー。随所に好プレーを見せ、女子ソフトボールチームを感心させた。基本のしつかりした守備の堅い小学生に、女子ソフトボールの平松艶子主将は「見習うことが多く、勉強になりました」。



一般女子ソフトボールでは郡大会に向け、部員を募集中。年齢制限なし。毎週金曜日、喜界高校グラウンドで午後七時から九時まで練習。連絡は役場・平松まで（六五一一一一）。

国民年金だより

＜問＞基礎年金番号とは何ですか。

＜答＞基礎年金番号とは、国民年金や厚生年金保険などの公的年金制度で共通して使用する個人ごとの番号です。この基礎年金番号により、公的年金の全ての期間を通じた年金の加入状況が記録されます。このことにより、年金相談や年金の裁定がより速く、確実にできるようになります。また、すでに年金を受けておられる方が、年金に関する各種の届出やお問い合わせなどをされる時には、この基礎年金番号と年金の種類を表す年金コードを使用していただくこととなります。

＜問＞基礎年金番号はどのようなときに必要となるのですか。

＜答＞基礎年金番号は、国民年金に加入するとき、就職して厚生年金保険に加入するとき、年金の裁定請求の手続きをするときなどに必要となる番号です。また、すでに年金を受けておられる方が年金に関する各種の届出、またはお問い合わせなどをされるときは、基礎年金番号と年金の種類を表す年金コードを使用していただくこととなります。

＜問＞国民年金や厚生年金保険などの年金に加入していた期間は、基礎年金番号によりどのように記録されるのですか。

＜答＞国民年金や厚生年金保険などの公的年金に加入していた期間は、公的年金制度で共通して使用する個人ごとの番号である基礎年金番号により、全ての加入期間を通じて同じ番号で記録の管理がされることとなります。このことにより、年金相談や年金の裁定がより速く、確実にできるようになります。

お知らせ

平成18年4月1日から介護保険制度が変わります

高齢者の「自立支援」、「尊厳の保持」をより重視するために、介護保険制度が見直されました。

・介護予防の重視
要介護・要支援状態、悪化などを防止する予防サービスが提供されます。

・地域での生活を支えるサービス
住み慣れた地域で生活を継続できるように支えるサービスが導入されます。

・地域の高齢者の生活支援
高齢者の生活を総合的に支援する「地域包括ケア」の中核機関となる、地域包括支援センターが各市町村に設置されます。

▽問い合わせ先
市町村介護保険担当課

県庁介護国保課
☎099(286)2674

平成18年4月から介護保険料(65歳以上の方)が変わります

介護保険料(65歳以上の方)は、3年ごとに見直すこととなっており、新たな介護保険料は、平成17年度末に各市町村の条例で定められます。

・介護保険制度について
介護保険制度は、介護を必要とする状態になっても自立した生活ができるよう、高齢者の介護を社会全体で支える仕組みです。

・介護保険料の決まる仕組み
保険料は、お住まいの市町村ごとに、利用されるサービスの量に応じて決まります。

介護サービス費用の約19%を、その市町村にお住まいの65歳以上の方の人数で割り、その額を基準として、所得に応じて決まります。

・新たな介護保険料額
新たな保険料の額は、お住まいの市町村の条例で定められ、原則として平成18年度、平成20年度の3年間適用されます。

▽問い合わせ先
市町村介護保険担当課

県庁介護国保課
☎099(286)2674

昭和47年の湾・赤連商店街



先月紹介した写真の反対側から撮影した湾・赤連商店街。七夕の飾り付けをする女の子の服装や自動車が年代を感じさせる。人の通りも多く、にぎやかさが感じられる。写真の裏には昭和47年と書かれていた。撮影場所は現在のモリ商店付近。

あの日 あのことろ

テレビ調査員、工事人を名乗る悪徳商法にご注意ください

テレビの地上デジタル放送開始に先立ち、一部の地域では、現在ご覧いただいている地上アナログテレビ放送の放送周波数(チャンネル)の変更に伴い、テレビ(受信機)、ビデオデッキ等の受信周波数の再設定(チャンネルプリセット)が必要になり、また、場合によっては受信アンテナの取替等の工事が必要になることもあります。

次の場合(工事業者のあつせん依頼を受けた場合)を除き、地域受信対策センターから、工事にお伺いすることはありません。もし、突然、テレビ調査員とか工事作業員等と名乗って訪れ、「工事をするので、工事費を支払ってください」という者がいたら、悪徳商法の疑いがありますのでご注意ください。

工事に関してあらかじめ工事業者についてのご希望等がありましたら、地域の受信対策センターにご相談ください。この際、ご依頼があれば、工事業者のあつせん(紹介)を行います。また、工事にお伺いするときは事前にご連絡します。突然にお伺いする

とはありません。不審に思われる場合は、直ちに、次にご連絡ください。また、最寄りの警察署または交番にもご連絡ください。
▽問い合わせ先
宮崎・鹿児島地域受診対策センター
☎0120(550)142
☎099(206)8634
事業所、ホテル等におけるテレビ(受信機)、ビデオデッキ等についてのこれら工事は、日常生活の場合である一般の住宅等の場合とは異なり、国の費用負担の対象ではないことから、それぞれでの実施をお願いします。

障害者に対する自動車税・自動車取得税の減免があります

県では、身体障害者や精神障害者が取得し、または所有する自動車（精神障害者または18歳未満の身体障害者については、生計を同一にする者の所有を含みます）について、次のような一定の要件に該当するときには自動車税および自動車取得税を減免していただきます。

・身体障害者が日常生活用として運転する場合

・生計同一者が専ら身体障害者等の通学、通院、通所または生業のために運転する場合・身体障害者等のみで構成された世帯で生活する身体障害者等の通学、通院、通所または生業のために常時介護する者が運転する場合など

▽問い合わせ先

県自動車税管理事務所

☎099(261)5611
各総務事務所・各支庁財務課

平成18年度生涯学習県民大学「鹿児島地理紀行」講座

喜界高等学校（尾口義男校長）では生涯学習県民大学「鹿児島地理紀行」講座を開講し

ます。県内に居住する成人であれば、だれでも受講できます。

▽実施期間

・5月11日～6月8日

（毎週月、木曜日の9回）

・午後6時30分～8時30分

（各2時間。ただし午後7時から参加できる方も受講OK）

▽募集定員

30人

▽実施場所

喜界高等学校会議室

▽受講料 無料

（ただしテキスト代として1000円徴収）

▽講座の紹介

昨年度、喜界高校で実施した社会学習講座「鹿児島地理紀行」が好評で、続編を行ってほしいとの要望の声が多かったため、本年度は県民大学において「鹿児島地理紀行」の第二弾を行います。

講座内容は、①市町村合併

によって新しく誕生した新自治体とその特色②県内各地で活躍する企業の紹介が中心。

特に企業紹介はバブル後に成長した企業を中心に県内18社（AZ）阿久根市、エコクリ

エート、鹿児島市、シンケン

（鹿兒島市、森伊蔵、垂水市など）の経営者や実務担当者

へ直接取材した内容などを毎回準備しています。9回の講座は地域別に以下のとおりです。なお、6回以上の出席者には修了証を授与します。

▽学習テーマ

1 県都鹿児島市の特徴と近年の動向

2 南薩の観光産業・環境産業

3 薩摩川内と海を越えた合併

4 出水と新幹線開通とその影響

5 ハイテクと観光の街・霧島市

6 畜産王国鹿児島を支える曾於

7 鹿屋と大隅半島と現状と今後の発展の鍵

8 種子・屋久の観光と交通

（航路新規参入と新空港について）

9 奄美諸島と喜界島の明日を考える

▽申込み〆切 4月28日

（喜界高校事務室へ）

▽問い合わせ 鹿児島県立喜界高等学校

☎6510024
担当 奥山嘉邦

保健師だより

日本は世界一の長寿国。

しかし、日本人の歯は平均寿命50～60歳と、とても短命です。そんな日本の中でも鹿児島県は虫歯の多い県です。そして喜界島は、県内でも有数の（?!）乳幼児の虫歯の多い地域なのです。そこで、町内の歯科医をはじめ、歯科衛生士、老人クラブ、婦人会、食生活改善推進員、母子保健推進員、育児サークルの元気なお母さんたち、保育所等、有志が集まり「喜界島、子どもの歯の健康を考える会」を開催しました。写真。



歯は全身の健康に関わる

「家族ぐるみ、地域ぐるみで正しい生活リズムの笑顔輝く喜界っ子を育てる」をスローガンに掲げ、子どもの歯の健康を守るにはどうすればよいかということ、熱く語り合いました。会では「歯磨き」「おやつ」「断（卒）乳」「虫歯になりにくい歯づくり」の4つのテーマで話し合いました。その中で、問題点として「おやつ（甘いお菓子）を食べる量、回数が多い」「断（卒）乳の時期が遅い」「生活リズムの不規則な子どもが多い」「乳歯はどうせ生え替わるから虫歯になってもいい」と思っているなどがあげられました。どれも大変な問題です。そして、親だけ、家族だけ、努力すればよいという問題でもありません。虫歯は歯だけでなく、全身の健康に深く関わっています。乳歯であっても同じです。日々ぐんぐん成長していく子どもたち。その健康を地域みんなで守りましょう！

つづく

教育委員会のつらら

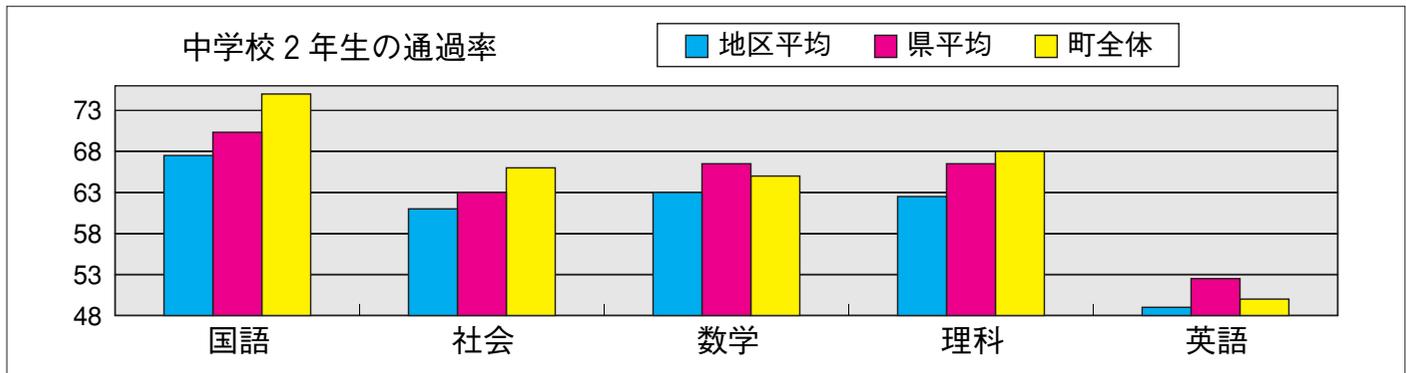
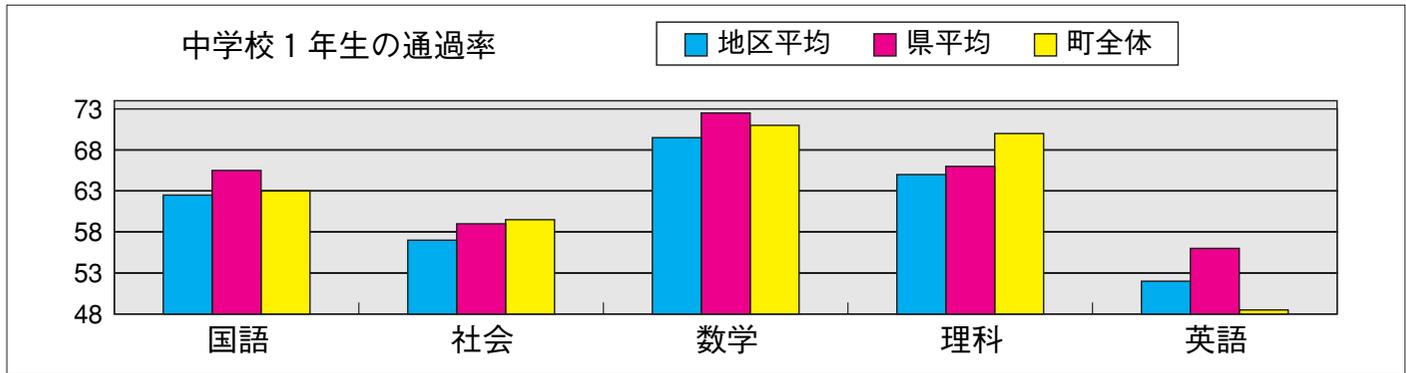
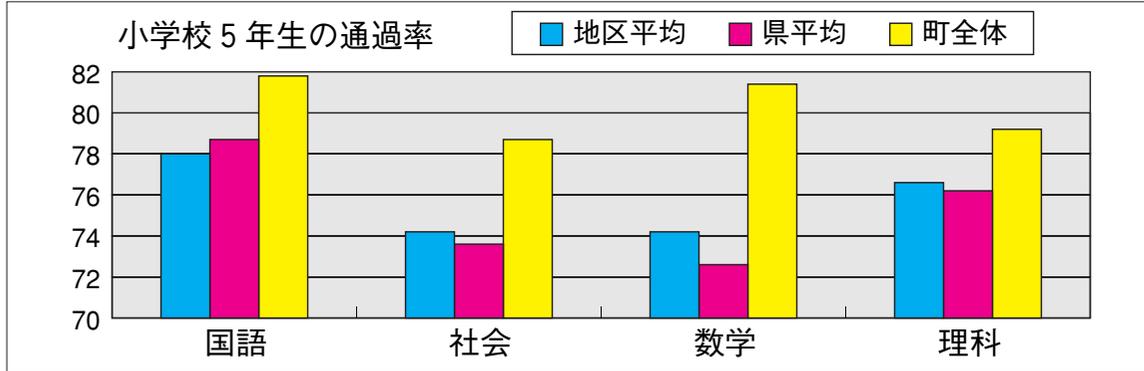
平成17年度

「基礎・基本」定着度調査の結果

平成十八年一月、県内の小学五年生・中学一年生・中学二年生を対象に、学習したことがどれだけ身に付いているかを調べる「基礎・基本」定着度調査が行われました。下のグラフは、教科ごとの通過率を、本町の児童生徒平均と県平均・大島地区平均と比べたものです。

教科ごとの通過率（県と町の平均の比較）

	国語	社会	算数 数学	理科	英語
小5県	78.7	73.5	72.6	76.1	
小5町	81.8	78.7	81.4	79.2	
中1県	65.2	58.9	72.3	66.0	55.7
中1町	62.8	59.6	71.2	70.0	48.7
中2県	70.6	63.1	66.8	66.9	52.6
中2町	74.7	66.3	65.0	67.9	49.7



昨年度の各学校の学力向上の取り組みと本調査結果から、次のような成果と課題が得られました。

【成果】

○ 小学校は町全体として県平均よりも全ての教科で高い学力を身に付けている。中学校も教科によっては県平均を上回る学力を身に付けている。

○ 各学校の授業の工夫や「家庭学習六〇・九〇運動」による確実な取り組みが子どもの成果に表れてきた。

【課題】

○ 結果の分析を密にし、落ち込んでいる部分は学校も家庭も本人も「基礎・基本を身に付ける」という強い気持ちで努力する。

学力は、変化の激しいこれからの社会を生きていく上で、「自分の夢を実現する」ための基礎となります。

これからも「家庭学習六〇・九〇運動」を確実に実践していきましょう。

喜界歌壇

アマリリス花芽かぞえて春を
待つ心にやさし風のささやき

北島 シナ

昼下がりに日向ぼこしてうたた
ねす夢に出で来し亡夫声もな

有村 道子

小庭辺の日向の中に香り立つ
みかんの花に風まだ寒し

竹田ヨシ子

小鳥鳴く日向に出でて診察を
待つ東の間は痛みうすれる

平尾 チヨ

日向ぼこ好みし母は現し世の
働きづめの一生を終えて

屋良ミノ子

車いす出でて日なたの鉢植え
を膝に抱えて荒草を取る

美代 イシ

亡き母の縫いしを解くに静か
なる針目はありし春の日向に

郡 市子

日向にて庭草を取る我が耳に
澄みし鶯の初音聞こゆる

弥島 幸子

道すがら日向に寄りて立ち話
頭上に淡き昼雲の浮く

林 蓮香

このごろの籠り居の性癒さむ
と冴えわたる野の日向を歩む

嶺倉 祝子

野すみれに目をとめあるく日
向道をはや足の雉子ふいと横
切る

武田 幸子

戸籍の窓

3月届出

こんにちは
赤ちゃん

氏名 保護者 住所
嶽本 侑志 洋一 志戸桶
鳥越 れえか 宏 湾

いつまでも
お幸せに

本島 和美 阿伝
澤田まさみ 白水
榮 健太郎 佐手久
中村恵理香 湾
大久保智明 塩道
麓 順子 宇検村
西尾 勝幸 上嘉鉄
繁山美乃里 小野津
岩切 輝仁 湾
上角早弥香 赤連

ごめい福を
お祈りします

佐手久 西 ユキ 87才
伊実久 浪岡 ツチ 88才
川 嶺 榮山 嘉雄 78才
赤 連 向井ノリエ 75才
荒 木 荒本 ヒロ 78才
志戸桶 東野 啓夫 83才
中 里 保 マキエ 75才
上嘉鉄 榮 ヨシ 96才
志戸桶 外内 カ子 73才
小野津 花岡 武隆 73才
浦原 奥田 辰男 84才
高倉 高倉 辰男 87才
大朝戸 直 マス 87才
花良治 厚 東照 73才

社協だより

■香典返し

荒木 久保 琴子
荒木 福原 恵子
川 嶺 榮山 智枝
尼崎市 輪島 茂徳
佐手久 西 啓一
中 里 芳 悦雄
赤 連 向井 武夫
湾 豊崎 義光
志戸桶 高田 清昭
志戸桶 外内 幸男
中 里 保 善次郎
小野津 花岡 友枝
上嘉鉄 榮 長義
志戸桶 東野 ユキエ
宝塚市 山本 門枝
■寄付金
荒木 作井 久吉
坂 嶺 岩下 晶子

……喜界町の推計人口……

(平成18年3月31日現在)

世帯数……3,699戸 (-46)
人口……8,387人 (-116)
男 ……3,947人 (-33)
女 ……4,440人 (-83)
— () は前月比—

わが家のアイドル

竹内 桃香ちゃん
(4歳7カ月)

翔太郎ちゃん
(4カ月)

父=浩二 母=志保
〈湾〉

わが家のにぎやかなアイドル2人は、わがままで
あまえんぼうのもーちゃんと、朝にいつもご機嫌で
ニコニコしている翔ちゃんです。もーちゃんは、お姉
ちゃんになるためにおこられてばかり。でも少しず
つがんばって!!翔ちゃんもその笑顔をずっとたやさ
ずに…。2人でみんなをなごませてネ。



大塚 浩士くん (11歳)
海士くん (9歳)
勇士くん (1歳9カ月)

父=浩也 母=フロリーナ
〈塩道〉

やさしい長男、おしゃべりな二男、マイペースな三男、個性
が全く違う兄弟3人。お兄ちゃん2人は、年の離れた弟にメロ
メロ♪これからも兄弟仲よく、助け合いながら、のびのびと成
長してほしいです。



うふくんでえー
たチバリヨ

